

地域医療構想

地域の各医療機能（高度急性期・急性期・回復期・慢性期）の将来の必要量を踏まえながら、医療機能のさらなる分化・連携を推進することを目的とした構想のこと。

地域個別ケア会議

地域包括支援センターにおいて、個別事例の課題解決などを目的とし、民生委員・児童委員、介護支援専門員や地域代表者などと連携して行う会議のこと。

地域自殺実態プロフィール

厚生労働省及び自殺総合対策推進センターが、自殺統計及び住民基本台帳に基づく人口と国勢調査を用いて、性別や年代等の項目ごとに自殺者数を集計した資料のこと。

地域包括ケアシステム

要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けることができるよう、包括的に支援する体制のこと。

地域包括ケア病床

急性期の治療を終了し、在宅復帰に向けて、医学管理、リハビリ、退院支援などを提供する病床。

地域まちづくり協議会

各小学校区を基準として、区域内で活動する自治会・町内会を基盤に、地域で活動する団体・組織が、それぞれの目的や活動を尊重し合い、緩やかに連携・協力することで、地域が対応できる課題などは、協働して、その解決に取り組む組織のこと。

地産地消

地域生産・地域消費の略語で、地域で生産された様々な生産物や資源（主に農産物や水産物）をその地域で消費すること。

地方公営企業法の全部適用

地方公共団体が運営する公営企業は、地方公

営企業法に基づき運営されるものであり、法に規定する「財務」「組織」「職員の身分取り扱い」及び「雑則」のすべてについて適用される経営形態。市立医療センターは平成28年4月に地方公営企業法の一部適用「財務規定」から全部適用へ経営形態を見直した。

ちょこボラ

地域まちづくり協議会で行う、生活上のちょっとした困りごとを助け合いで解決する仕組みのこと。ちょこっとボランティアの略。

通所型サービス

介護保険によるサービスを利用しようとする対象者が、自らが普段生活している場所とは違うところを訪れ、何らかのサービスを受ける形態のこと。

特定健康診査

40～74歳までの公的医療保険加入者を対象としたメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健診のこと。健診によって、生活習慣病のリスクを早期に発見し、その内容を踏まえて生活習慣を見直すための「特定保健指導」を行う。

特定保健指導

特定健康診査の結果に基づき、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者や予備群に対し、医師、保健師及び管理栄養士などが生活習慣の見直しをサポートする。対象者が健康的な生活に自ら改善できるよう、さまざまな働きかけやアドバイスを行う。

特定保健用食品

からだの生理学的機能などに影響を与える保健効能成分（関与成分）を含み、その摂取により、特定の保健の目的が期待できる旨の表示（保険の用途の表示）をする食品のこと。特定保健用食品として販売するには、食品ごとに食品の有効性や安全性について国の審査を受け、許可を得なければならない。

な

ナッジ理論

Nudge(ナッジ)は、注意や合図のために肘で人を軽く突くという意味で、「人の行動は不合理だ」という前提の基に人間の行動を心理学、経済学の側面から研究する「行動経済学」を、実社会で役に立てる一つの方向性として示したものの。人々が自発的に望ましい行動を選択するように促す仕掛けや手法。

二次救急

入院治療や緊急手術を必要とする患者に対応する救急医療のこと。

2次予防

病気を予防する方法には1~3次の3つの段階があり、2次は、がん検診などのように早期発見、早期治療を促して病が重症化しないように行われる処置や指導のこと。

認知症カフェ

認知症の人と家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき、集う場。地域での日常生活・家族支援の強化に向けての取り組みの一つ。

脳血管疾患

脳の血管が狭窄や閉塞によって生じる脳梗塞や脳の血管が破れる脳出血や主くも膜下出血を総称したもののこと。

は

ハイリスクアプローチ

ある疾病や要介護状態を発生するリスクの高いものに予防策を講じることによって、その発生防止を目指すもの。

フレイル

加齢とともに、心身の活力(例えば筋力や認知機能等)が低下し、生活機能障害、要介護状態、そして死亡などの危険性が高くなった状態。フレイルに対する適切な介入・支援により、生活機能

の維持向上が可能とされている。

ブックスタート事業

赤ちゃん訪問などの機会を活用して、0歳児に絵本を贈る取り組みのこと。絵本の読み聞かせを通じて赤ちゃん和家人のコミュニケーションを豊かにするとともに子どもの言語能力と豊かな心を育む。

平均寿命

平均寿命は、0歳児が平均して何歳まで生きるかを、平均余命とは、ある年齢の人が平均してあと何年生きるのかを示したもので、ある年齢の人が0歳の場合の平均余命を特に平均寿命と呼ぶ。

ヘルスリテラシー

健康や医療に関する情報を探したり、活用したりする能力のこと。ヘルスリテラシーが低いと誤った健康情報に振り回されるだけでなく、健康に関する関心が低くなり、健康を悪化させやすい。

べにふうき茶

紅茶用に日本で品種改良されたお茶の木の品種のひとつ。茶葉中カテキン、特にエピガロカテキンガレート(EGCG)は血圧上昇に関わるアンジオテンシンI変換酵素活性の阻害作用を持つことが知られている。

訪問看護

看護師などが看護の必要な在宅療養者を訪問し、主治医の指示に基づき、療養上必要な世話や医療行為を行う看護サービスのこと。

訪問看護ステーション

居宅で療養する人に対して訪問看護を行う目的で運営される事業所のこと。

訪問型サービス

介護保険によるサービスを利用しようとする対象者の元を、看護師や介護士などが訪れ、何ら

かのサービスを提供すること。

ポータルサイト

インターネットを利用する際、まず最初に閲覧されるような、利便性の高いウェブサイトの総称のこと。

ポピュレーションアプローチ

集団全体に予防介入を行うことを通じて、その集団全体におけるリスクのレベルを低下させ、集団全体での疾病予防・健康増進を図る組織的な取り組みのこと。

ま

三重県救急医療情報センター

24時間365日対応により、急な病気やけがをした場合、電話により、これから受診できる医療機関を案内している。

みえ子ども医療ダイヤル

子どもの急な病気、薬・事故に関することについて、月曜日から土曜日の午後7時30分から翌朝8時まで（日・祝日、年末年始の場合は24時間対応）の間、医療関係の専門相談員が電話相談に応じる事業のこと。

三重とこわか健康マイレージ事業

県民の健康づくりを応援する取り組み。参加者は、毎日の運動や健康的な食事などの目標を達成できた場合や、健康診断の受診、市町等が実施する健康講座やスポーツ教室、地域活動等に参加することによってポイントが獲得できる。一定以上ポイントを獲得できた人には、市町から「三重とこわか健康応援カード」が交付される。

民生委員・児童委員

民生委員は、厚生労働大臣から委嘱され、地域において、住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努めつつ、児童委員を兼ねる。児童委員は、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるよう、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとな

どの相談・支援等を行う。

や

予防接種法

予防接種について、その対象となる疾病、接種を受ける義務、実施方法などを定めた法律。

ら

ライフステージ

年齢にともなって変化する生活段階となり、人間の一生における出生から、就学、就職、結婚、出産、子育て、リタイアなど、人生の節目によって移る生活スタイルのこと。

レスパイト(入院)

レスパイト(respite)とは、一時的中断、小休止を意味する英語。レスパイト入院とは、在宅医療の対象者で、医療ニーズが高く、介護保険のショートステイの利用が難しい患者などを対象とした医療機関での短期間入院のこと。

レセプト

患者が受けた診療に対して、医療機関が保険者に請求する診療報酬明細書のこと。診療内容や処方した薬の費用が記載されている。

老年症候群

加齢に伴い高齢者に多くみられる、医師の診察や介護・看護を必要とする症状・徴候の総称のこと。

ロコモ

ロコモティブシンドロームの略。骨、関節、筋肉などの運動器に障がいがあり、「立つ」「歩く」といった移動機能が低下している状態のこと。運動器症候群。

亀山市健康まちづくり計画〔令和5年3月〕

発行 三重県亀山市

編集 亀山市健康福祉部健康政策課

〒519-0164 三重県亀山市羽若町545番地

TEL 0595-98-5001 FAX 0595-82-8180

<https://www.city.kameyama.mie.jp/>